



世界の記憶を広く発信しています

先人から引き継いだ世界的に貴重な資料を多くの皆さんにご覧いただいたり、また、引揚者を温かく迎えた市民の思いやりの歴史を大切に、まちへの愛着心の醸成にもつながるように、さまざまな取り組みを行っています。

全国巡回展

全国の引揚港があったまちを巡る引揚記念館資料の特別展を平成28年度から実施。これまでに、横須賀市、呉市、佐世保市、函館市、福岡市、田辺市で開催。全国で引き揚げに関心を寄せてもらうきっかけとなっています。今後も開催市との連携を進めていきます。



教育旅行の誘致

次世代への継承となる教育旅行の誘致に取り組んでいます。平和学習に加え、遊覧船や赤れんが倉庫群などの近現代の歴史、漁業体験など教育旅行にも適した魅力をアピールして、近年、関東方面からの中学校や高校の修学旅行も増えています。また、市内の小学6年生は、ふるさと学習として全校来館しています。



語り部の養成

展示資料や時代背景など史実についての理解をより深め、平和の尊さに想いを馳せてもらうため6-7「語り部」の存在はますます重要になっています。市では、一時中断していた「語り部養成講座」を世界記憶遺産登録をきっかけに平成27年度から再開。平成29年には、中学生の語り部も初めて誕生しました。



引揚記念館 グランドオープン 30周年の開館記念日 4月24日に

「次世代への継承」をコンセプトに進めていた引揚記念館の第2期工事が完了し、4月24日にグランドオープンします。

今回の整備により、新たな展示空間として、抑留生活体験室を設置。収容所を再現した空間で、「食料の分配」「寝る」「触る」などを体感することができます。

また、同館は約1,300枚の抑留や引き揚げの回想絵画を所蔵していますが、これまで展示スペースの関係から公開する機会が限られていました。新たな企画展示室を設置したことにより、これらの絵画を常設で展示します。ま



た、映像で収蔵絵画の全てを紹介するコーナーもあります。体験者の記憶を「見る」ことで戦争を知らない世代にも、よりイメージが伝わりやすくなるのが期待されます。

そのほか、収蔵庫や資料の管理や整理を行うための部屋など、博物館機能を強化しました。

引揚記念館は今年で30周年を迎えます。

平成27年10月、ユネスコ世界記憶遺産に登録され、国内外での注目がますます高まる中、多くの皆さんに来館していただいています。

「平和の尊さ」や「引き揚げの史実」を次世代に継承するオンラインワン施設として、市は、貴重な資料と、それにまつわるさまざまな「想いや「願い」を、これまで以上に発信するための取り組みを進めていきます。

《引揚記念館》



オープニング セレモニーを開催

【日時】 4月24日(火) 10時から
【場所】 引揚記念館
【その他】 先着3,000 人に粗品を進呈。新設の施設の利用はセレモニー終了後の11時頃から。



新設した抑留生活体験室



収蔵する抑留回想絵画

グランドオープン&開館30周年特別企画展

回想絵画展 Ver.1

MEMORY OF THE WORLD

くたじろ記憶 たずねる過去

引揚記念館が収蔵する抑留体験や引き揚げ体験の回想記録画の中から、ユネスコ世界記憶遺産登録資料をはじめ、ちほてつや氏や赤塚不二夫氏など著名な漫画家による回想記録画の展示を行います。

【日時】4月24日(火)～7月1日(日)
【料金】無料(別途入館料が必要)
【問い合わせ先】引揚記念館(☎08-080000)

